

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2007

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714
寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 2-19-5
☎ 823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

大型開発・「同和」優遇 府民に冷たい自民・公明・民主の「オール与党」

ムダ使いやめてくらし福祉に 府民の立場を貫く日本共産党

国の悪政に輪をかけて、太田知事と知事を支える自民・公明・民主党などの「オール与党」は、閑空二期事業や箕面の緑を削っての大型開発など、大企業向け誘致事業等と年間五〇億円以上の「同和」事業予算は確保する一方で、福祉や中小企業分野などの府民サービスを切り捨ててきました。

太田府政は、府立高校の授業料を、「全国一」高くし、さらに全国で例のないエアコン代まで別枠徴収。六年間で十二校の府立高校を廃校・募集停止しました。その中には寝屋川市の生徒に影響のある南寝屋川・四條畷北・東寝屋川高校(普通科)が含まれています。

四條畷北・東寝屋川高校(普通科)の廃校には、卒業生はじめ多くの市民が白紙撤回を求める請願を府議会に提出しました。

また、現在、府の乳幼児医療費助成の対象年齢は、三歳未満で(一部負担あり)、全国で最低クラスです。

「子どもの医療費助成制度の拡充」を求め

くらし守る府政へ 太田くみ子さん頑張っています

日本共産党府会議員団は、「緑を削り、大型ショッピングセンター施設の建設が予定されている寝屋南土地地区画整理事業は、寝屋川市内全体の商業にも大きな影響が予想される」と大型開発事業「強

る請願も昨年一〇月に府議会に出されました。これらの請願にオール与党は、反対し、日本共産党のみの賛成で不採択となりました。

寝屋川市駅東・香里園駅東の二地区の再開発、寝屋南土地地区画整理事業など府の「都市計画」に賛成したのもオール与党です。

行」に反対しました。日本共産党太田くみ子府政対策委員長は、税金の無駄づかいにストップをかけ、府民のくらし・福祉を守る府政へ頑張っています。

視界

早くも二月中旬、一年でも、寒い時期。でも、随分と暖かい日が続いています。冷え込むとの予報でも、筆者幼少の頃、昭和十年代から二十年代初めの寝屋川での寒さ比べ、それほどのことではないようです。▼

小学校の運動場の水溜まりが夜風でさざ波立ったり、学校への道すがら小さな川には氷が張り、小石を投げて表面をキーンキンと遠くまで滑り跳んでゆくのを競った覚えがあり、ほとんどの子どもの手足には、赤く腫れた霜焼けやあかぎれが絶えませんでした。少し暖かくなり始めると痛がゆくなったりも懐かしい思い出です。▼住宅の改善と暖房器具の普及のお陰ばかりとはいえません。地球の温暖化現象が拍車を掛けています。暖かいに越したことはないありませんが、地球誕生以来の四十幾億年の自然の摂理に、人類が我がもの顔で横槍をいれ、自然や他の生きものとの共存をないがしろにしての独り善がりとはあつては考えさせられます。何よりも戦争が一番いけません。▼一月中旬、仙台へ向かう飛行機から、一面の雲海に胸から上を突き出した美しい富士山を見ました。三日目辺りまで雪でした。今年は何かいことありそうなの気がしてきました。やがて春がやってきました。精一杯頑張り、頑張り甲斐のある春、夏にしたいものです。(Q)



法律相談

とき: 2月15日(木) PM6:30
ところ: 寝屋川市市民会館第4・5会議室

弁護士がご相談にのります。
遠慮なくお越しください。
お問い合わせ
寝屋川市議員団まで
☎ 824-1181 (内2399)